



キリン食生活文化研究所

2015年9月29日
レポート vol.52

～あなたのくらしのアンケート～
「ボランティア」

サマリー

ボランティアの魅力は？

キリン食生活文化研究所は、ボランティアについて調査を実施(2015年7月21日～28日、全国男女、ウェブ調査)、このうち20才から69才までの8,109名の方の回答をまとめました。

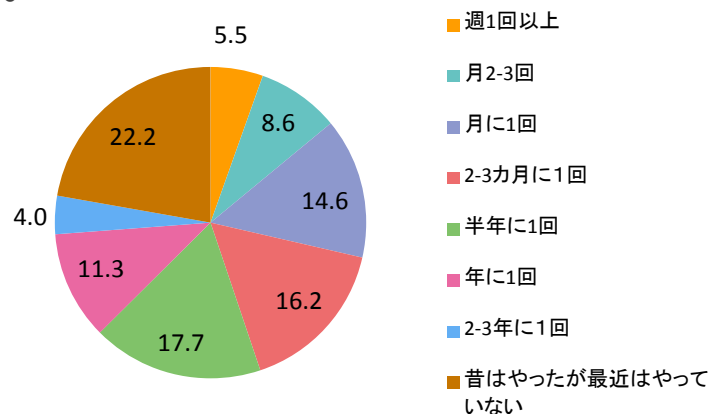
ボランティアをしたことのある人(94%)の中で、ボランティアを週に1回以上行っている人は全体の5%でした。月に2、3回行う人は9%、月に1回は15%でした。

これまでの活動で多かったのは「ベルマーク」の69%、次いで「募金などで寄付」が68%で、以下「献血」、「地域や町内会の活動」、「エコキャップ集め」、「リサイクル活動」でした。

きっかけで多かったのは「会社・学校で実施していた」でした。

ボランティアの目的は「誰かの役に立ちたいから」が最多でした。週1回以上行う人に着目すると、これ以外にも「新しい人と出会えるから」、「ボランティア活動が楽しいから」、「自分の居場所を感じられるから」など、ボランティア活動に自分の楽しみを見出している様子がうかがえました。

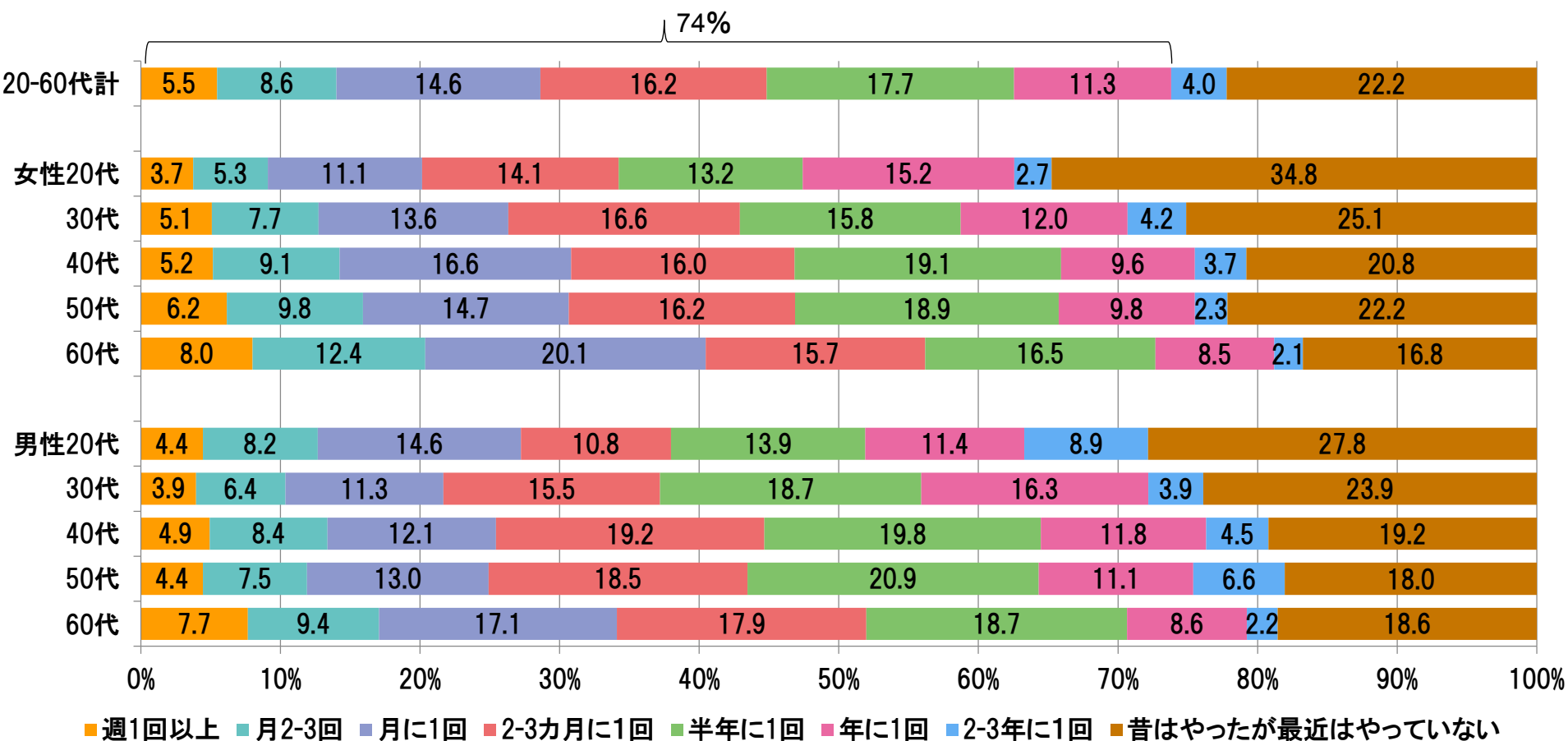
Q.あなたはどれくらいの頻度でボランティアを行っていますか？



Q.ボランティア活動を行う頻度は？（男女・年代別）

過去にボランティアを実施した人の結果をまとめた。全体では、年に1回以上ボランティア活動を行っているのは74%であった。そのうち月に1回以上行うのは全体の29%、週1回以上が5%であった。性年代別では男女とも60代がもっとも頻度が多く、20代以外は男性よりも女性のほうが頻度が多かった。

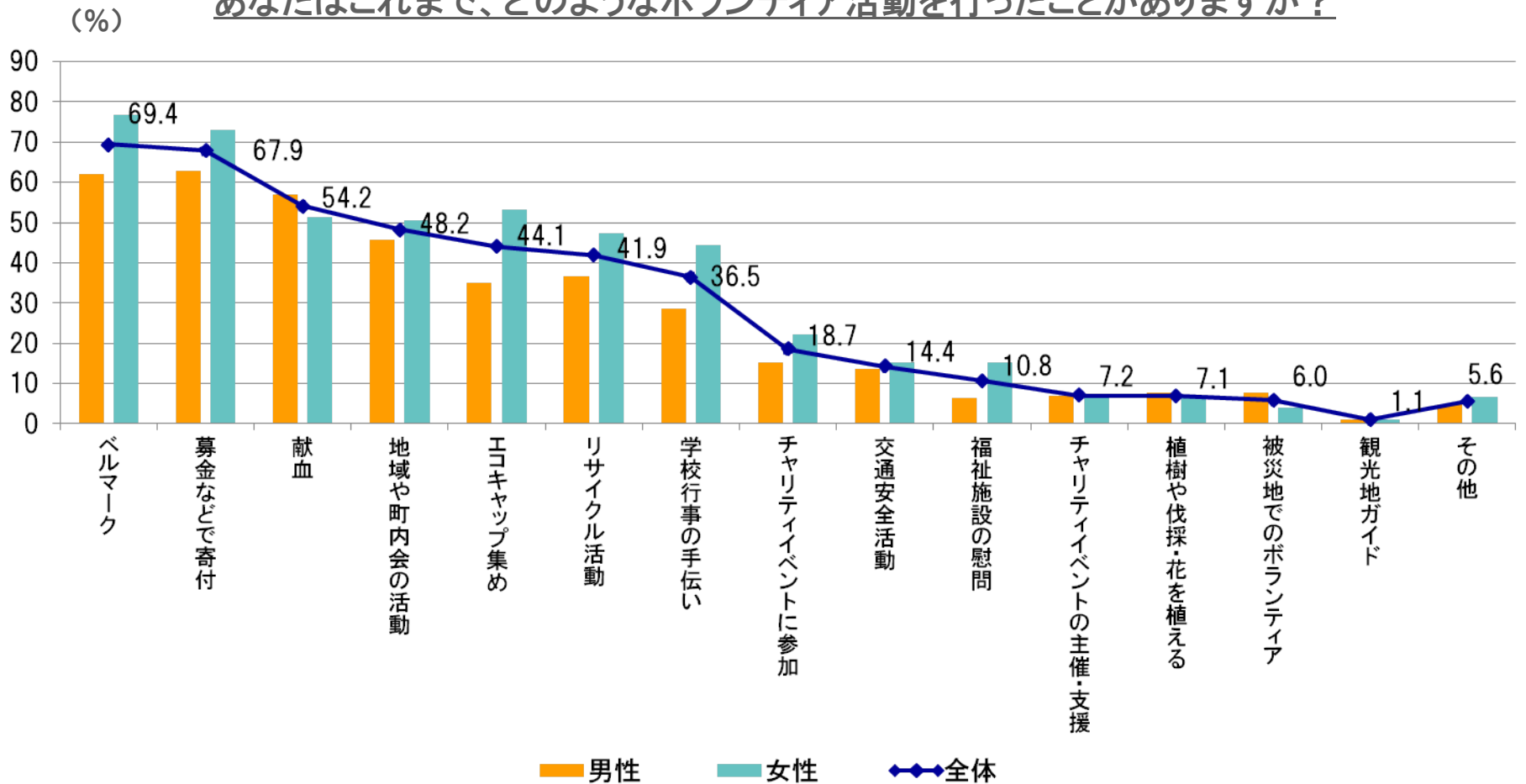
あなたはどれくらいの頻度でボランティアを行っていますか？



Q.どのようなボランティア活動を行ったことがありますか？（男女別）

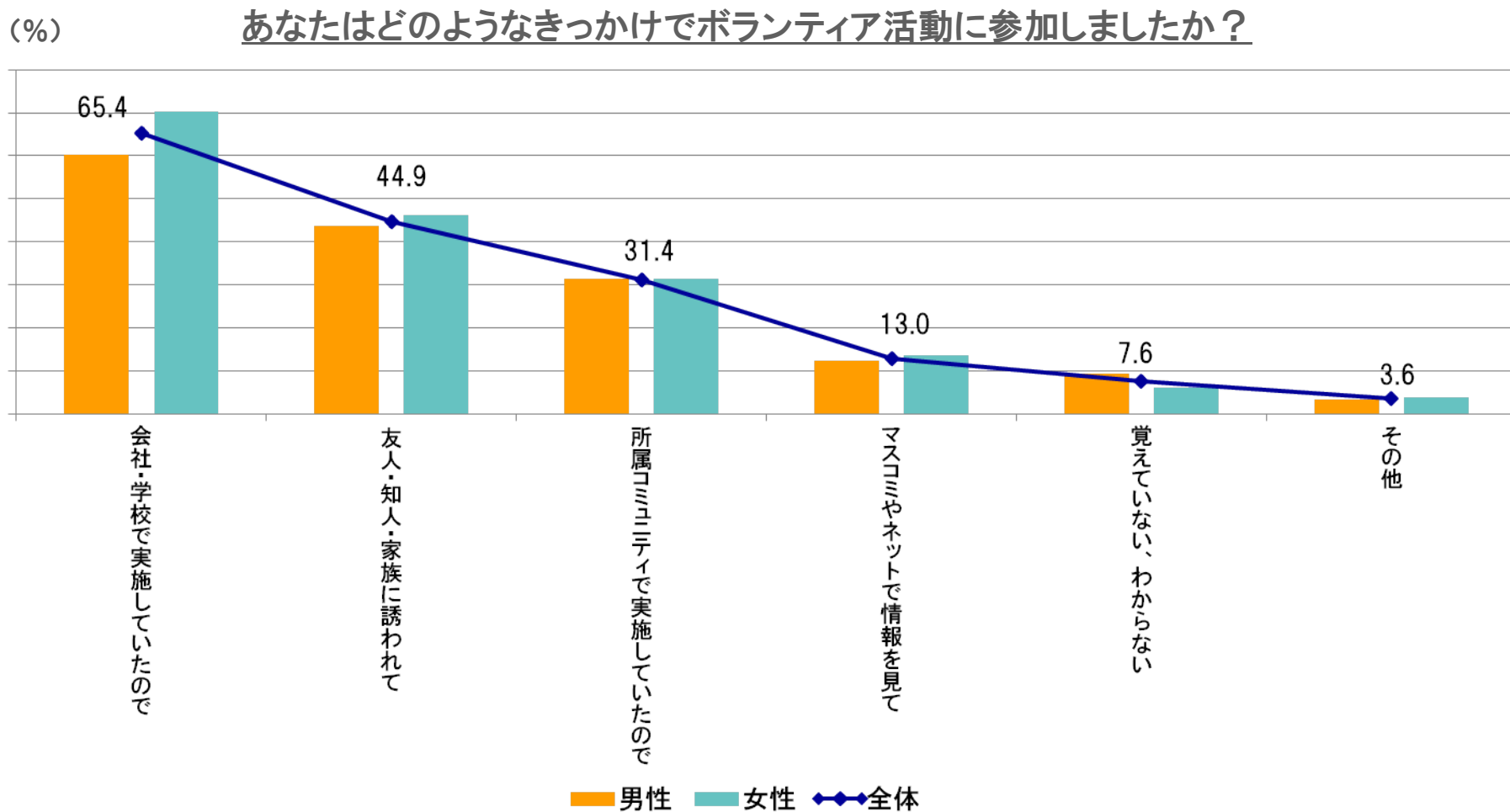
行ったボランティア活動で多いのは「ベルマーク」と「募金などで寄付」。次いで「献血」、「地域や町内会の活動」、「エコキャップ集め」、「リサイクル活動」、「学校行事の手伝い」であり、学校やコミュニティに誘われる参加が多いようである。全体的に女性の実施率が高い傾向だが、献血は男性が女性を上回った。

あなたはこれまで、どのようなボランティア活動を行ったことがありますか？



Q.ボランティア活動に参加したきっかけは？(男女別)

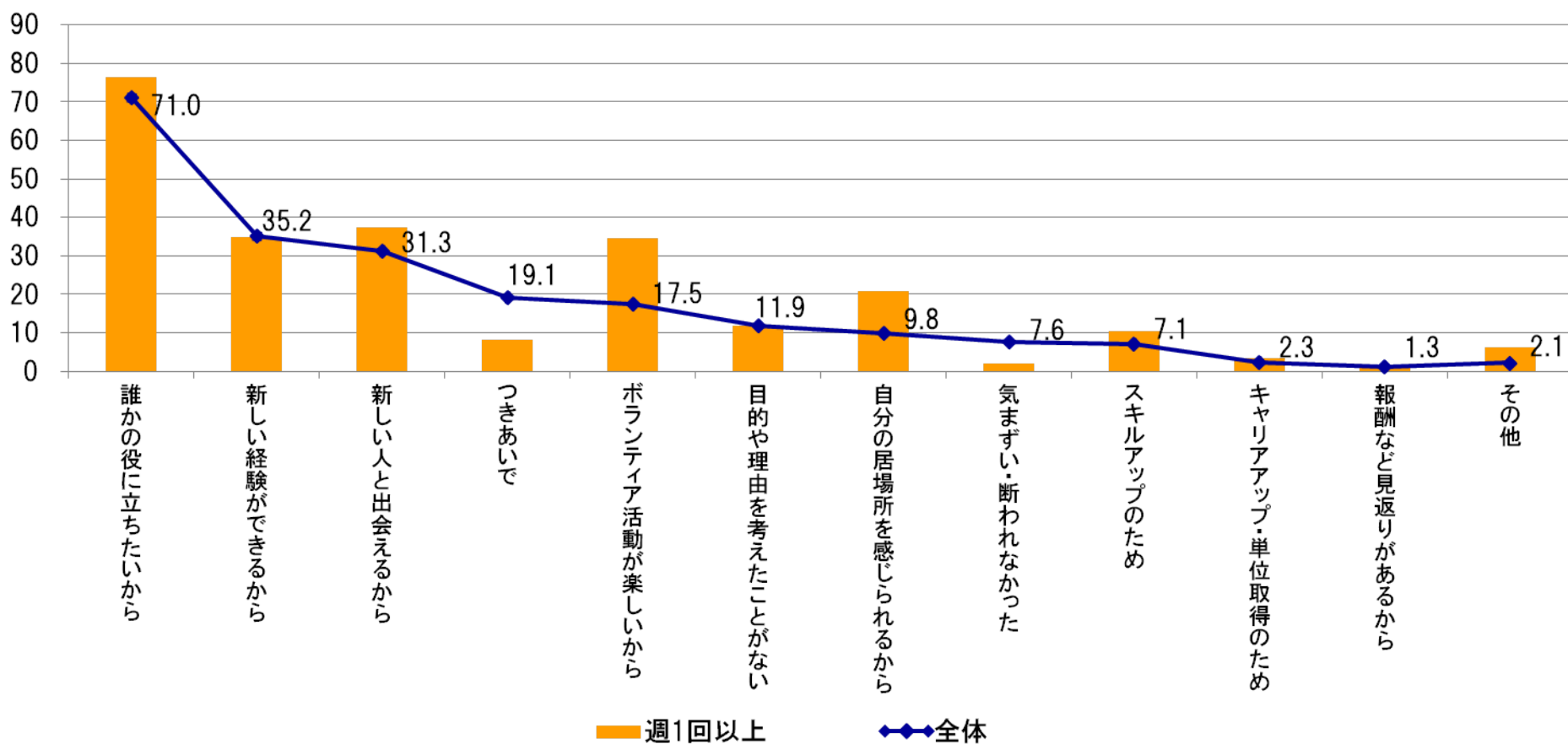
ボランティア活動に参加したきっかけは、前ページの結果からもうかがえるように、男女とも「会社・学校で実施していたので」が高く、特に女性で顕著。次いで「友人・知人・家族に誘われて」、「所属コミュニティで実施していたので」が続く。



Q.ボランティア活動に参加した目的は？（頻度別）

ボランティア活動を行う目的は、「誰かの役に立ちたいから」が1位。週1回以上ボランティア活動を行う人はこれに加えて、「新しい人と出会えるから」、「ボランティア活動が楽しいから」、「自分の居場所を感じられるから」と回答している人が多い。

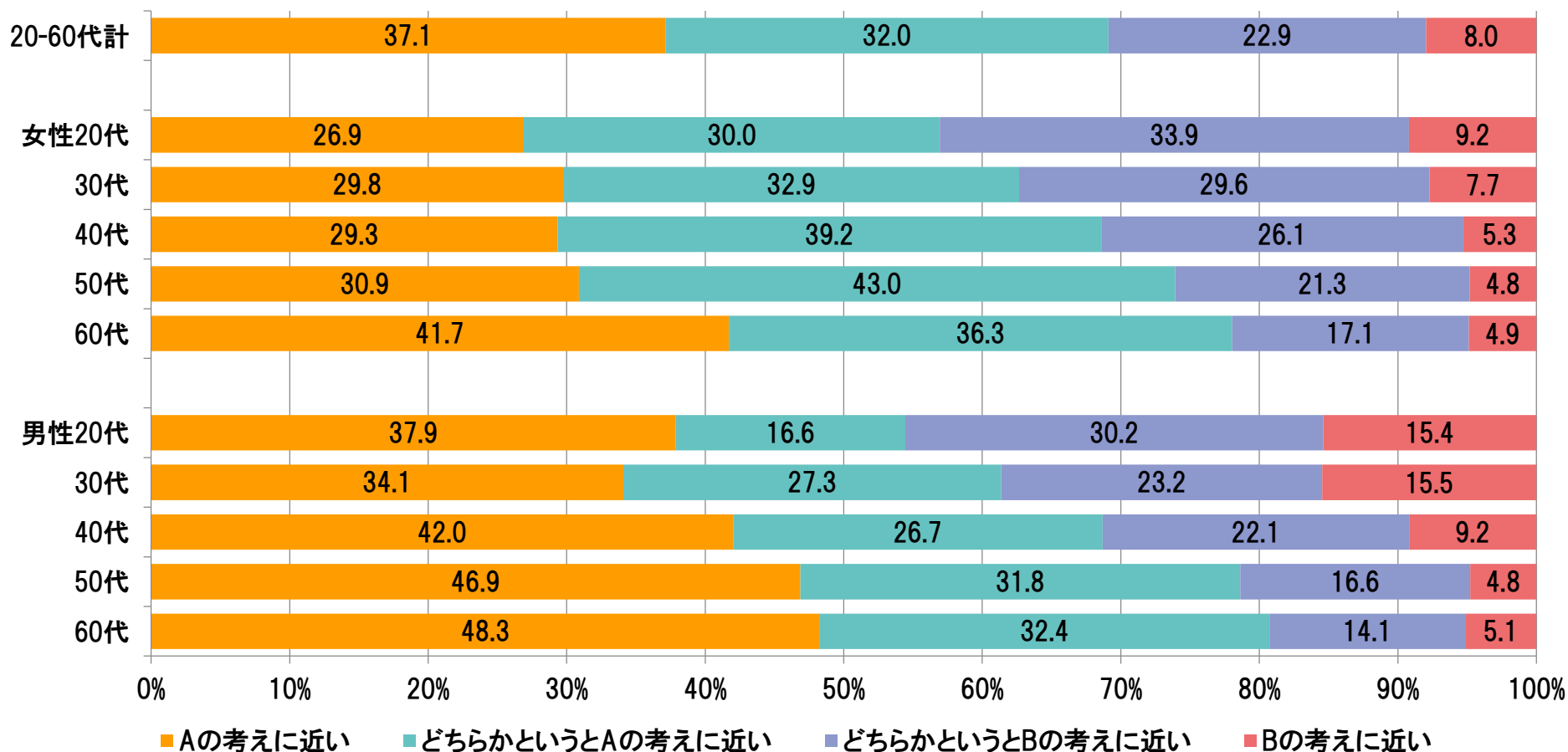
(%) あなたはどのような目的でボランティア活動に参加しましたか？



Q.無償と有償のどちらが参加しやすいですか？(男女・年代別)

ボランティア活動は無償と有償とでどちらが参加しやすいかを聞いたところ、無償のほうが参加しやすいという回答が多かった。年代別では(20代男性を除き)年齢が高くなるにしたがってこの傾向が強い。

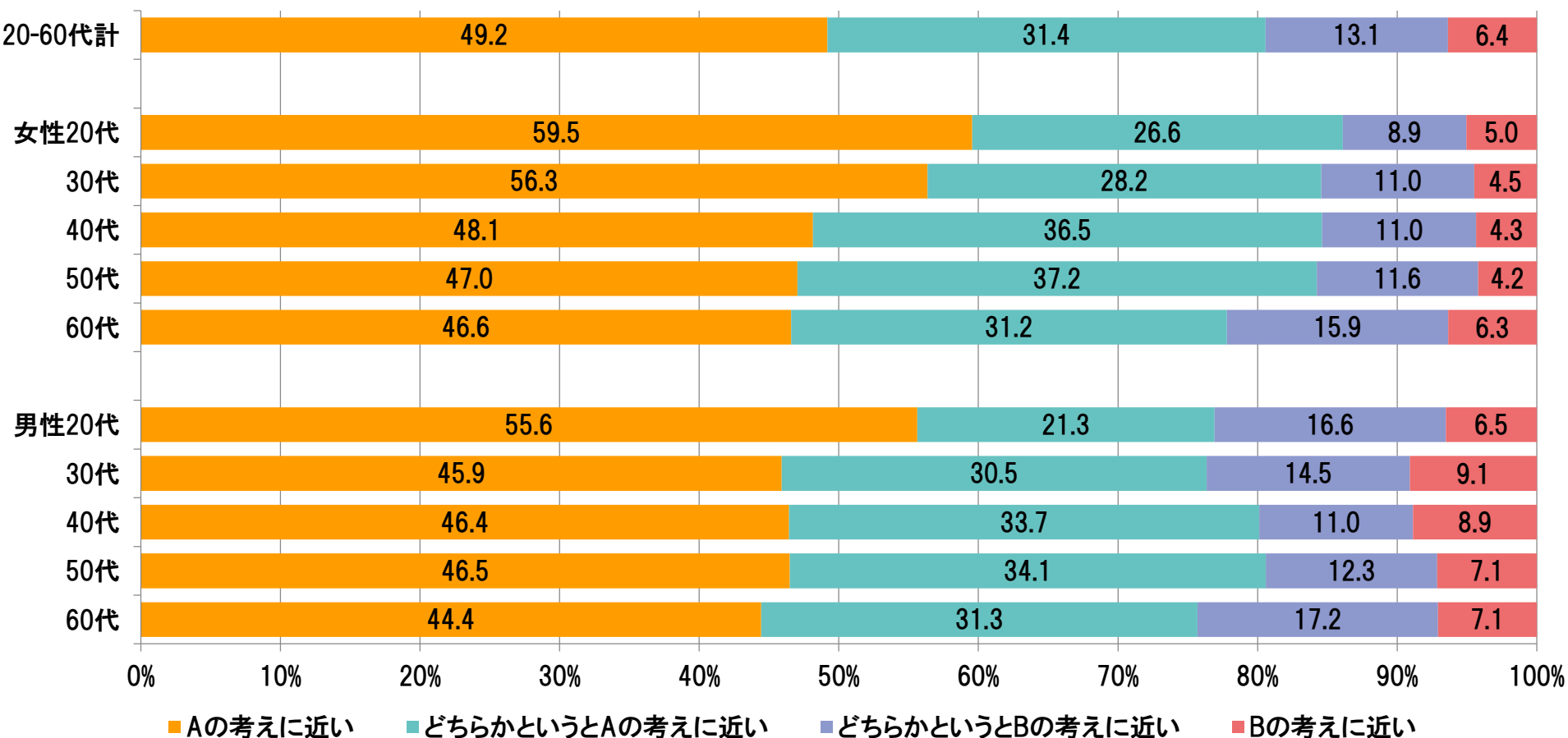
どちらの考えに近いですか？ A)無償のほうが参加しやすい B)報酬のあるほうが参加しやすい



Q.どんな活動が良いですか？(男女・年代別)

ボランティア活動を行うとしたら「誰でもできるもの」のほうが「専門スキルが活かせるもの」よりも良いという回答が8割を超えた。特に、男女とも20代では強く肯定する人が5割を超えた。

どちらの考えに近いですか？ A)誰でもできるものが良い B)専門スキルが活かせるものが良い



Q.ボランティアに参加して良かったことは何ですか？（自由回答）

ボランティア活動に参加して良かったことを自由回答で聞いた。「ありがとうと言われる喜び」や、「自分が人の役にたてた」などが数多く回答された。週1回以上実施している人では「自分のためにもなった」などの回答が特徴的に見られた。

あなたがボランティア活動に参加して良かったと思うことは何ですか？（週1回以上実施者）

達成感と、そのあとの飲み会などのご苦労さん会が楽しい（40代男性）

私への周囲の評価があがった（40代男性）

面識のない人達と交流出来た（40代男性）

自分は身障者ですが、人のためにできることもあるんだという、生きがいを感じる（50代男性）

人付き合いが苦手なので、自分ができることでも参加できることがあってよかった（30代女性）

大変じゃないことが分かって良かったと思った。やってみると普通のことだと思った（30代女性）

自分だけではなかなか経験できないことが学べてよかった（40代女性）

参加することで自分の心が温かくなるとともに、人とのつながりや、自分の今あることに感謝する気持ちがとても豊かになりました（50代女性）

ほめられたいとかは思いませんが、きれいな道や公園は気持ちいいです（50代女性）

Q.ちょっとしたことでもボランティア活動になるとしたら？（自由回答）

「自分の趣味の活動やちょっとしたことでもボランティア活動になるとしたらどんなことを行うか」を自由回答で聞いた。仕事や特技を活かしたもの、普段の行動の延長で考えられるものなど、興味深い意見が得られた。

自分の趣味の活動やちょっとしたことでもボランティア活動になるとしたら、どんなことを行いますか？

車の洗車（20代男性）

バレーボールをしているので地域の子に教えたりしてみたいです（30代男性）

エンジニアなので、家電の修理（40代男性）

スキーを教えるとか買い物の代行など（50代男性）

家庭内の電気器具の点検や電球の取り換えや給排水の点検等してみたい（60代男性）

幼稚園の見守り（70代男性）

クリック募金（20代女性）

料理が得意だから、福祉施設などで一緒に料理する（30代女性）

お年寄りの話し相手、買い物の手伝い（40代女性）

手芸や何かを作ったりするのが好き。そのようなことでお役に立つことがあればいいな（50代女性）

買い物代行の付き添い（60代女性）

薬に関する知識があるので飲み方などを説明したい（70代女性）

Q.ボランティア活動にもっと参加しやすくなるアイデアは？（自由回答）

ボランティア活動をもっと参加しやすくなるアイデアを自由回答で聞いた。「活動が行われていることを告知する」、「イベントをボランティア活動と一緒に行うと参加する人が増える」という意見が多数寄せられた。それ以外にも、ルールのありかたや会社のバックアップなど、ユニークなアイデアも出された。

「こうすればボランティア活動はもっと参加しやすくなる」というアイデアがあればお書きください

ボランティア活動の後に一番搾りで乾杯して食事を楽しむ機会があれば毎回楽しみになる
（20代男性）

休暇がとれるとよい（50代男性）

短時間かつ途中での出入自由（50代男性）

ルールは緩くして束縛しない（60代男性）

何も考えず、まず参加する事。参加してから考えて、疑問があればやめても良いと思う
（60代男性）

一人ではなく、会社などの仲間と一緒にならやりやすい（40代女性）

楽しさをアピールする、スキルがなくてもできる活動があることをアピールする（40代女性）

万が一にそなえ、子供の世話や送迎バスの運転などはボランティア団体が保険に入ってほしい
（60代女性）

子供の頃から参加する環境を作る（50代女性）